

## 4月定例記者会見要旨

最初の情報も「安心安全の取り組み」の一つで、冒頭でも触れさせていただいたマンホールトイレの設置についてです。

このマンホールトイレにつきましては、下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するもので、市では平成29年度に馴柴小学校と八原小学校に設置し、今後は指定避難所となっている市内の全小中学校など20箇所への設置を計画しております。

大地震などにより甚大な被害を被った被災地の避難所で、トラブルの上位に挙げられるのがトイレの問題ですが、マンホールトイレは下水道管に直接流す形態のため、従来の仮設トイレに比べて、衛生的に継続利用ができる事が一番の利点とされています。

現在、県内市町村では公共施設を中心に整備が進められておりますが、全体的にはまだ整備途上の段階であると伺っております。防災減災日本一を目指す本市では、平成29年度から33年度の5年間で整備を進めてまいります。この計画は災害関連死の防止など、減災対策においても有効な取組と考えております。

続きまして、市として初めての試みとなります牛久沼を題材としたフォトコンテストについての情報です。

ご案内の通り、牛久沼につきましては、市の貴重な地域資源として、内外からの人が賑わう100年先の「感幸地」を目指して「牛久沼活用構想」を策定し、その名所化を進めております。

この風光明媚・自然豊かな牛久沼を市内外に周知宣伝し、環境保全の重要性を訴えるとともに、沼の有効的な利活用を推進することを目的に、牛久沼の自然や風景を題材としたフォトコンテストを開催します。

テーマは「四季を彩る牛久沼」、応募期間は5月14日から8月31日までで、プロ・アマを問わずご応募いただけます。

入賞作品については、市が作成する2019年版オリジナルカレンダーに掲載してまいりますので、ぜひ多くの皆様にご応募いただきたいと思いますと考えております。

続きまして「国体開催500日前PRイベント」の情報です。

「いきいき茨城ゆめ国体」が来年、平成31年に開催されますが、当市では柔道競技が、10月5日から7日に「たつのこアリーナ」で開催されます。

今年5月23日は、ちょうど柔道競技開催500日前にあたることから、市ではこれを記念して、同日夕刻にPRイベントを開催いたします。

会場は市役所1階ホールとショッピングセンターサプラ1階フェスタコートで、市役所では午後4時45分から、ショッピングセンターサプラでは午後5時45分から、柔道スポーツ少年団の小学生たちが事務局とともにPR用のティッシュを配布します。

また、当日は柔道着を着た「まいりゆうくん」が初お目見えする予定で、お披露目も兼ねてPR活動に参加する予定となっております。

1964年の「東京オリンピック」では当市の名誉市民でスポーツマスターの「岡野 功」さんが柔道中量級で金メダルに輝いており、柔道には特に深い縁があることから、国体競技開催にあたっては、他県からも多くの選手・役員・観客においでいただき、皆さんの思い出に残る素晴らしい大会としてまいりたいと考えております。市民の皆様、関係者の皆様には何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、国指定重要文化財の掛軸「絹本著色十六羅漢像」の公開展についての情報です。

14世紀前半の作とされるこの掛軸につきましては、16幅揃った羅漢図

として本市きっての古作で、その美術史的価値が高く評価されて国重要文化財に指定されています。

市内若柴町・金龍寺の所蔵ですが、現物は水戸市の県立歴史館で管理されているため、本市が誇る素晴らしい品でありながら、今までなかなか市民の皆様にご覧いただける機会がありませんでした。

このたび、全16幅の掛軸のうち4幅についてレプリカを作成し、そのお披露目を兼ねて、5月12日から27日まで歴史民俗資料館で公開展を開催いたします。

レプリカとはいえ、現物同様に絹地を用い、文化財専用のデジタル転写技術と職人の手作業による技術とを結集して作られておりますので、非常に精巧な仕上がりとなっております。当地きっての名品の姿をこの機会にぜひ、ご覧いただきたいと思えます。

また、展示期間中の5月20日には、県立歴史館の田中 伸吾（たなか しんご）学芸員をお招きしての記念講演会を開催いたしますので、ぜひ、こちらのほうにも足をお運びいただければと思えます。

以上で私からの情報提供を終わらせていただきます。情報の詳細につきましては、この後、担当から説明させていただきます。